

第46回 放送教育研究会全国大会 愛知大会

第34回 東海北陸地方放送教育研究大会



外車輸入港として日本一を誇る豊橋港

平成7年11月9日(木)・10日(金)

豊橋市

第 46 回

放送教育研究会全国大会 愛知大会

- とき / 平成 7年 11月 9日(木)・10日(金)
- ところ / 豊橋市

主 催

全国放送教育研究会連盟
東海北陸地方放送教育研究協議会
愛知県視聴覚教育研究協議会
日本放送協会

主 管

第46回放送教育研究会全国大会愛知大会実行委員会

後 援

文部省 厚生省 郵政省 愛知県 名古屋市 豊橋市
三重・静岡・岐阜・石川・福井・富山 各県教育委員会
愛知県教育委員会 名古屋市教育委員会 豊橋市教育委員会
愛知県公立高等学校長会 名古屋市立高等学校長会 愛知県小中学校長会
名古屋市立小中学校長会 尾張小中学校長会 三河小中学校長会 三河教育研究会
愛知県国公立幼稚園長会 愛知県特殊学校長会 愛知県私立幼稚園連盟
愛知県私学協会 愛知県教育振興会 愛知県教育公務員弘済会
財団法人愛知教育弘済会 財団法人愛知県退職教職員互助会
愛知県小中学校PTA連絡協議会 愛知県社会福祉協議会
日本視聴覚・放送教育学会 財団法人日本放送教育協会

目 次

◇ ごあいさつ

全国放送教育研究会連盟理事長	天 城 勲 ……	3
愛知県教育委員会教育長	安 井 俊 夫 ……	4
豊橋市教育委員会教育長	古 山 保 夫 ……	5
第46回放送教育研究会全国大会愛知大会実行委員長	岩 間 敏 和 ……	6
大 会 主 題 ……		7
大会主題の解説 ……		8
校種別研究主題・大会全体日程 ……		10
総 合 全 体 会 ……		11
会場校・園 日程 ……		12
公開保育・公開授業一覧 ……		14
会場校・園 研究発表・研究協議案内 ……		18

幼稚園
保育所

小学校

中学校

◇ 会場校・園紹介

幼稚園・保育所

研究主題と重点課題 ……	20
社会福祉法人 磯辺保育園 ……	22
社会福祉法人 明照保育園 ……	24
学校法人みゆき学園 豊橋若葉幼稚園 ……	26

高等学校

小学校

研究主題と重点課題 ……	30
豊橋市立松山小学校 ……	32
豊橋市立羽根井小学校 ……	34
豊橋市立中野小学校 ……	36

特殊教育
諸学校

課題別
セミナー

目 次

中学校

研究主題と重点課題	40
豊橋市立豊城中学校	42
豊橋市立羽田中学校	44

高等学校

研究主題と重点課題	48
愛知県立豊橋商業高等学校	50
愛知県立時習館高等学校	52

特殊教育諸学校

研究主題と重点課題	56
愛知県立豊橋養護学校	58

◇ 課題別セミナー

課題別セミナー一覧	63
幼稚園・保育所、高等学校、共通	65
小・中学校、特殊教育諸学校	68

◇ 放送教育研究会全国大会のあゆみ

77

◇ 大会役員等一覧

80



全国放送教育研究会連盟

理事長 天城 勲

第46回放送教育研究会全国大会愛知大会が、関係の皆様方の二年にわたる周到な準備作業を経て、豊橋市において開催されることになりました。

変動の激しい今後の社会に向かい、新しい教育方針を示す学習指導要領は、「自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる能力の育成を図るとともに、基礎的・基本的な内容の指導を徹底し、個性を生かす教育の充実に努める」という基本的な考えを示し、すでに全面的な実施に入っています。知識、技術のみならず、思考力、判断力、創造力、表現力、さらに意欲、実践の能力を培う新しい学力観が強調されています。これを背景として本大会は、「楽しくまなび 個がかがやく放送教育をすすめよう」を主題として、新しい教育方針を放送教育の観点からいかに進めるかを研究するものであります。

ところで、新学力観は従来とかく知識の記憶に偏りがちな学習に対して、考え、判断し、創造する能力等を培うことを重視するものであります。学力を氷山にたとえると、知識、技術は海面上の見える部分であり、考え、判断し、創造する等の能力は海面下の見えない部分であります。見える部分は教え易く評価し易いが、見えない部分は教えるに難しく評価も難しい。氷山は海面下の見えない部分の方が大きいのに同じように、学力も、見えない部分がより重要であります。新学力観についてこのことを深く認識して指導上の一層の工夫が強く求められています。

ここであらためてテレビの画面を見てみましょう。そこには発信者から受信者に、画像、色、姿、文字、数字、音声など、ある「意味内容」を伝えるためのコミュニケーションのさまざまなシンボル（記号）が一定の教育的意図のもとに多様に組み合わせられていることが分かります。他の教材や手段では理解しにくい事柄や直接体験できない事象を、テレビは、広く深く伝えます。しかも、新鮮な印象、驚き、喜びを与え、学習者の意欲をかきたて、感動とともに人間の内面に訴える力があります。理性のみならず感性に訴える力があります。従って、色々なシンボルを組み合わせた画面トータルを「観る」あるいは「読む」力が要求されるわけです。放送教育の原点とはこういうことではないでしょうか。分かりきったことを私は敢えて強調したいと思えます。

最後になりましたが、本大会開催に至るまで、長い間ご尽力とご協力を賜りました関係の機関、組織、学校の方々に心から感謝とお礼を申し上げます。



愛知県教育委員会教育長

安井俊夫

第46回放送教育研究会全国大会が、全国各地から多くの関係の皆様方のご参加のもと、愛知県豊橋市で盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

21世紀を担う子どもたちを育成するために、今日の教育に課せられた課題はいくつかあります。

なかでも、子どもたち一人一人の個性を見極め個性を生かす教育を充実させるとともに、変化の激しいこれからの社会において生涯を通じて学び続け、たくましく生き抜くための基盤となる力を育成することは極めて重要な課題であります。

そのためには、新しい学力観に基づいた、自ら学ぶ意欲と主体的な学習の仕方を身に付けさせることが大切であります。

このような教育を推進していくためにも、学習する子どもたちに豊かな創造力や学習への興味・関心を持たせる放送教育の意義はますます重要になるものと確信いたします。

今研究大会は、「楽しくまなび 個がかがやく放送教育をすすめよう」を大会主題に掲げられています。そして、この大会主題に沿って、放送の特性を生かし、子どもが主体となり楽しく学べるような教育活動を推し進め、個の輝きを引き出そうとする研究発表に基づき研究協議が行われることは、まさに、教育の抱える今日的課題を追求しようとするものであり、その研究協議の成果が広く全国に広まることを期待するものであります。

最後になりましたが、愛知大会を開催するにあたり、ご尽力いただきました多くの先生方に深く感謝申し上げますとともに、この大会の成功と本研究会のますますのご発展を心から祈念申し上げます。ごあいさつといたします。



第46回放送教育研究会全国大会愛知大会推進委員長

豊橋市教育委員会教育長 古山保夫

豊川の清流と、豊かな自然につつまれた東三河の秋色も日増しに濃くなってきております。

このたび、全国各地から参加されました皆様方をお迎えして、第46回放送教育研究会全国大会愛知大会を本市で盛大に開催する運びとなりました。

輝かしい歴史をもつこの大会が、皆様の実践活動を踏まえた研究により大きな成果をおさめ、放送教育ならびに学校教育の充実と発展のために重要な役割を果たしていることに心から敬意を表します。また、今回豊橋市が開催地となったことは、本市の教育振興のためにも誠に喜ばしい限りであります。

今回は、「楽しくまなび 個がかがやく放送教育をすすめよう」という大会主題のもと、「子どもの良さを見つけ、伸ばす」「子どもとの信頼関係を大切にする」など、子どもたちが、楽しく、成就感を体得しながらいきいきと学習する姿を求めています。

子ども一人一人の豊かな感性や個性的な考え方・とらえ方を伸ばしたり、興味関心を高め、より発展的な行動へ立ち向かおうとする主体的な生き方を育てたりすることは、教育に携わるものとしての大きな責務であります。学校放送番組の活用を通して、単に知識や情報の受け手としてではなく、使い手・作り手として、情報を創造し発信する者を育成することは、生涯にわたって自ら学ぼうとする自己教育力の育成に寄与するものと思います。この研究大会において、活発な研究交流が行われ、実りある会となるよう期待しております。

終わりに、本大会の開催にあたりご支援いただきました関係各方面の方々ならびに、準備・運営にご協力いただきました方々に心からお礼を申し上げますとともに、本大会の成功を願い、ご参会の皆様のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げまして、ご挨拶といたします。



第46回放送教育研究会全国大会愛知大会実行委員長

東海北陸地方放送教育研究協議会長 岩間 敏和

さわやかな秋、ここ愛知県豊橋市に、全国各地から放送教育に関心と熱意をお持ちの皆様方をお迎えし、第46回放送教育研究会全国大会愛知大会を開催できますことは、このうえない喜びであり、心から厚くお礼申し上げます。

昨年の愛媛大会から愛知大会へと、奇しくも「愛」のつく大会が2年続きます。

個性重視の教育はすなわち「愛の教育」でもあります。私たちは一人ひとりの子どもをしっかりととらえて、この伝統ある放送教育の歴史の上に新たなる1ページを加えようと、これまで3年間にわたって着々と準備を進めてまいりました。

本年は学校放送開始60周年です。この間、現場の先生、教育関係者、そして番組制作者の三者が常に一体となって、時代に正しく対応する放送教育を進めてまいりましたが、この大きな節目に、全放連も「放送に主体的にかかわり、学ぶ力・生きる力を培う教育をすすめよう」という研究主題をかかげて『第3次研究計画』を策定しました。その初年度の大会ではありますが、まだまだ多くの課題をかかえての開催だけに、参加される皆様方からより多くのご意見を頂戴したいと思います。

大会の主題は「楽しくまなび 個がかがやく放送教育をすすめよう」であります。

本来、子どもたちは「やってみたい、知りたい、分かりたい」とそれぞれが願っております。知育偏重になりがちな教育環境にあって、新しい学力観のもとでの教育は、必然的に子どもたち一人ひとりにとっての「やった、わかった、できた」という自己実現につながるものでなければなりません。

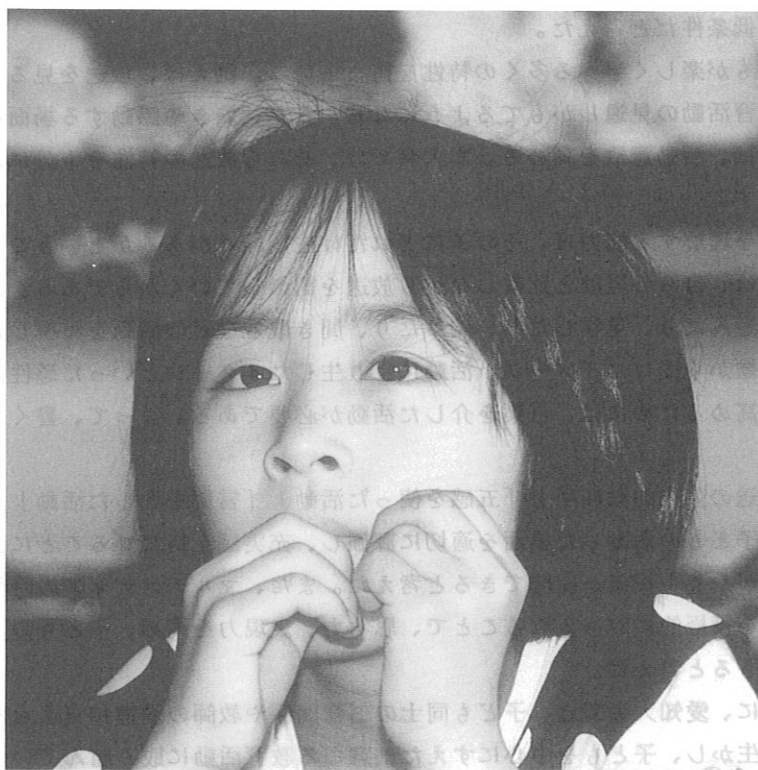
幸いにして、放送教材ないし多様な教育メディアは子どもたちの主体的な学びを保証し、学習の主体者として、体験、活動、表現といった多様な学習につながっていきやすいという特性が、研究校・園の実践の中で明らかにされました。

本大会では公開授業の数を思いっきり増やしました。すべての子どもを見ていただく、それが新しい教育への私たちの決意でもあります。それぞれの会場校・園にお出かけの際には、真っ先に子どもたちの顔を見て、声をかけてやってください。一人ひとりの顔がかがやいているとき、私たち教師もかがやいているからです。

最後に、愛知大会を開催するにあたりまして、ご支援をいただきました関係者各位、ならびに準備・運営にご協力いただきました皆様方に心より感謝申し上げますとともに、この大会の成果が放送教育の推進に役立ち、これからの学校教育の充実・発展に貢献できますことを祈念いたしまして、ごあいさつといたします。

大会主題

楽しくまなび
個がかがやく
放送教育をすすめよう



大会主題の解説

人間は本来、知的なもの、未知なるものを求めたいという本能をもっている。

“学びたい”という気持ちは、人間が生来もっている基本的な欲求である。「楽しくまなぶ」とは、この基本的な欲求が満足されたとき、自己の変容を意識して快く感じる気持ちではないだろうか。したがって、楽しく学んでいるときの子どもたちは生き生きと活動し、その活動から得た経験や知識は、その子にとって生きてはたらく力となる。

学びたいという気持ちをもつのは、人間の自然な姿だが、一生涯学び続けるためには、「学ぶことは、楽しいことである」ということを体得することが必要不可欠である。学校・園の教育活動が、生涯学習の入口であると考えるとき、楽しく学ぶことの重要性を十分に見つめ直し、この古くて新しい今日的な課題に正面から向かい合う必要がある。

そこで、本大会では「個がかがやく」ときを、子どもたちが一つのこと熱中し、個性を十分に発揮し、生き生きと活躍している瞬間と定義した。これは人間の自己実現そのものであり、本大会のめざす子ども像でもある。

これを達成するためには、学習活動を含めたあらゆる場で、その子のよさを見つけ、活躍できる場を探り、支援することである。そうすることで、子どもは自分のよさを十分に発揮し、充実感を味わい、自信を持つことができる。大切なことは、常日頃から教師・保母がそういう姿勢を持ち続けることである。それを自己実現を図る教育の基盤ととらえ、「個がかがやく」ための必要最低条件だと考えた。

放送は子どもが楽しく学べる多くの特性を持っている。例えば、放送を見ることで学び方を学ぶなど、学習活動の見通しがもてるようになる。また、驚きや感動する場面など心にうったえかける映像は、活動意欲を高める。本大会では、それら放送の特性を十分にふまえ、効果的な利用をめざす。

また、放送を理解する能力は、その子にどれだけ生活経験があるかということにも大きく関係する。それは、自らの経験と比較しながら放送を認識していくからである。よって、実際に五感を使って遊んだり、見学したり、調べたり、聞き取るなどの活動を重視した。

さらに、映像から受けたイメージ、活動により生じたイメージといった感性的なものを概念的なものまで高めるためには、言葉を介した活動が必要である。よって、書くこと、話すことを重視した。

それら「放送の効果的な利用」「五感を使った活動」「言葉を介した活動」などを効果的に組み合わせ、子どもの活躍した場面を適切に評価し、充実感を持たせることにより、子ども主体の「個がかがやく」授業が展開できると考えた。また、マルチメディアの時代をむかえ、様々なメディアを積極的に取り入れることで、思考力、表現力を高め、子どもの力をさらに引き出すことができると考えた。

以上のように、愛知大会では、子ども同士の信頼関係や教師の愛情に支えられた環境を創り、放送の特性を生かし、子どもを中心にすえた創意ある教育活動に取り組んでいる。そして、放送を主体的に受けとめ、楽しく学び、輝き続けようとする子どもの育成を図りたいと願っている。

愛知大会研究基本構想

「楽しくまなび 個がかがやく
放送教育をすすめよう」
—自己実現を図る教育を基盤として—

認める
励ます
伸ばす

放送の特性を生かし
子どもを中心にすえた
創意ある教育活動

個
の
か
が
や
き

言語活動

- ・書く・描く
- ・話す・つぶやき
- ・表情の変化

実体験

- ・ごっこ遊び
- ・実験・観察・見学
- ・一人調べ
- ・訓練・作業

映像体験
実体験
言語活動の統合

映像体験

- ・放送を視てつぶやく
- ・心を揺り動かされる
- ・眼の交流
- ・思いの共有化

生涯学習

新しいメディアの追究

見つめる
みがきあう
認め合う

高等学校

自己実現をめざす
放送教育を実践しよう

中学校

個の確立をめざす
放送教育を実践しよう

小学校

その子らしさのかがやく
放送教育を実践しよう

幼稚園・保育所

はすむ心がかがやく
放送教育を実践しよう

生きる力のかがやく
放送教育を実践しよう

- ・マルチメディア
- ・ハイビジョン

自己実現の基盤

信頼関係に包まれた学級経営

- ・子どもに対する無償の愛情
- ・子どもを理解し、生かそうとする眼
- ・一人一人が認められる

民主的な学習集団

校種別研究主題

幼稚園・保育所	はずむ心がかがやく放送教育を実践しよう
小学校	その子らしさのかがやく放送教育を実践しよう
中学校	個の確立をめざす放送教育を実践しよう
高等学校	自己実現をめざす放送教育を実践しよう
特殊教育諸学校	生きる力のかがやく放送教育を実践しよう

大会全体日程

■ 11月9日(木) 愛知県豊橋勤労福祉会館

14:00	15:00			17:30
受付		総合全体会		大会引継ぎ
	開会式	記念番組 シンポジウム		
関連イベント：キッズTVユメディア号公開（ライフポートとよはし） 機器・教材展示（愛知県豊橋勤労福祉会館）				

■ 11月10日(金) 各会場校・園・ライフポートとよはし

8:30	9:00	12:00	13:00	15:00
受付	公開保育・授業	移動	課題別セミナー	
	研究発表・協議	昼食		
関連イベント：キッズTVユメディア号公開 機器・教材展示（ライフポートとよはし）				

総合全体会

愛知県豊橋勤労福祉会館

○ 開 会 式

開会のことば	第46回放送教育研究会全国大会愛知大会実行委員長	岩間 敏和
あいさつ	全国放送教育研究会連盟理事長	天城 勲
	日本放送協会会長	川口 幹夫
祝 辞	文部大臣	島村 宜伸
	愛知県教育委員会教育長	安井 俊夫
	豊橋市長	高橋アキラ
閉会のことば	第46回放送教育研究会全国大会愛知大会推進委員長	古山 保夫
(司会者)	NHK名古屋放送局	坂井香奈子

○ 記念番組シンポジウム

第46回放送教育研究会全国大会愛知大会記念番組シンポジウム

「水の流れにふるさとが見える」

「新しい学力観」のもとで、「郷土学習」の分野でも様々なメディアを使った豊かな表現力が求められている。多メディア時代に放送教育が果たす役割を考える。

登壇者／上智大学教授	高桑 康雄
愛知教育大学教授	有田 和正
歌 人	俵 万智
豊橋市立羽根井小学校教諭	佐野 裕次
司会者／NHK名古屋放送局チーフアナウンサー	榊 寿之

○ 大会引き継ぎ

第46回放送教育研究会全国大会愛知大会実行委員長	岩間 敏和
第47回放送教育研究会全国大会札幌大会準備委員長	佐藤 文英

会場校（園）日程

社会福祉法人磯辺保育園

園児数/185名 クラス数/8

住所/〒441 豊橋市駒形町丸山24番地

TEL/0532-45-3298

FAX/0532-47-4277

8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00
受付	オリエンテーション	移動	公開保育	移動	研究発表 研究協議	ライブ レポート 発表	昼食 課題別セミナー
	20	30	30	40			

社会福祉法人明照保育園

園児数/231名 クラス数/8

住所/〒441 豊橋市牟呂町中村67番地の1

TEL/0532-31-1419

FAX/0532-31-1499

8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00
受付	オリエンテーション 研究発表	移動	公開保育	移動	部会別 研究協議	ライブ レポート 発表	昼食 課題別セミナー
		55		50	40		

学校法人みゆき学園豊橋若葉幼稚園

園児数/190名 クラス数/6

住所/〒441 豊橋市牟呂町外神83番地の1

TEL/0532-31-8082

FAX/0532-31-8080

8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00
受付	オリエンテーション	移動	公開保育	移動	研究発表 研究協議	ライブ レポート 発表	昼食 課題別セミナー
	10	20	20	30	40		

豊橋市立松山小学校

児童数/420名 クラス数/13

住所/〒440 豊橋市西松山町42番地

TEL/0532-52-0484

FAX/0532-57-1971

8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00
受付	オリエンテーション 移動	校内 放送	公開 授業	移動	研究発表 研究協議	昼食	課題別セミナー
	30	45	30	50			

豊橋市立羽根井小学校

児童数/573名 クラス数/20

住所/〒441 豊橋市羽根井本町131番地

TEL/0532-31-0375

FAX/0532-34-1689

8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00		
受付	オリエンテーション	移動	公開 授業	移動	公開 授業	移動	研究発表 研究協議	昼食	課題別セミナー
	10	20	05	15	15				

豊橋市立中野小学校

児童数/606名 クラス数/18

住所/〒441 豊橋市橋良町向山6番地の4

TEL/0532-48-2075

FAX/0532-44-1381

8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00
受付	オリエンテーション	移動	公開 授業	移動	研究発表 研究協議	昼食	課題別セミナー
	20	40	25	45			



豊橋市立豊城中学校

生徒数/364名 クラス数/14 (普通学級10、
特殊学級3、院内学級1)

住所/〒440 豊橋市今橋町2番地

TEL/0532-54-1275

FAX/0532-57-1964

8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00
受付	オリエンテーション	移動	公開授業	移動	研究発表 研究協議	昼食	課題別セミナー
		30 45		35 50			

豊橋市立羽田中学校

生徒数/586名 クラス数/17

住所/〒441 豊橋市西羽田町43番地

TEL/0532-31-3145

FAX/0532-34-1683

8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00
受付	オリエンテーション	移動	公開授業	移動	研究発表 研究協議	昼食	課題別セミナー
		30 40		30 50			

愛知県立豊橋商業高等学校

生徒数/986名 クラス数/24

住所/〒440 豊橋市向山官有地

TEL/0532-52-2256

FAX/0532-52-2283

8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00
受付	オリエンテーション	移動	公開授業	移動	公開授業	昼食	課題別セミナー (Hi-Vセミナーなど)
		20 40	50	40	50		

愛知県立時習館高等学校

生徒数/1,248名 クラス数/30

住所/〒441 豊橋市富本町

TEL/0532-45-3171

FAX/0532-47-7544

8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00
受付	オリエンテーション	移動	公開授業	移動	公開授業	昼食	課題別セミナー (Hi-Vセミナーなど)
		40	35 45	35 45	35		

愛知県立豊橋養護学校

児童・生徒数/小学部81名、中学部37名、高等部64名、合計182名
クラス数/小学部22、中学部11、高等部10、合計43

住所/〒440 豊橋市西口町西ノ口25番地の10

TEL/0532-61-8118

FAX/0532-63-5783

8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00
受付	オリエンテーション	移動	公開授業	移動	研究発表 研究協議	昼食	課題別セミナー
		10	50	10			

公開保育・公開授業一覧

社会福祉法人 磯辺保育園

年 齢	保 育 者	公開保育	利 用 番 組 等
3 歳 児	後 藤 景 子・早川みどり	T V 視 聴	こどもにんぎょう劇場
	相地あさ子・牧野益子	T V 視 聴	わいわいドンブリ
4 歳 児	浜田智子・酒井圭子	T V 視 聴	つくってあそぼ
	西山尚代	T V 視 聴	しぜんとあそぼ（ハイビジョン）
5 歳 児	小久保美佐子・浦口富美子	T V 視 聴	つくってあそぼ
	吉田直子	T V 視 聴	こどもにんぎょう劇場

社会福祉法人 明照保育園

年 齢	保 育 者	公開保育	利 用 番 組 等
0・1 歳 児	塩野谷宜子・安藤 操 近藤 智美・鈴木 啓恵、他	平常の保育	
2 歳 児	田村 悦子・荻山 典子 伊藤千恵子・大木 祐子、他	平常の保育	
3 歳 児	早川 典子・鈴木 香織	T V 視 聴	こどもにんぎょう劇場
	三輪真智子・酒井順子	T V 視 聴	わいわいドンブリ
4 歳 児	林 よね	T V 視 聴	つくってあそぼ
	大場直子	T V 視 聴	こどもにんぎょう劇場
5 歳 児	山本幸代	T V 視 聴	しぜんとあそぼ（ハイビジョン）
	栗林孝依・三世訓子	ラジオ聴取	お話でてこい

学校法人みゆき学園 豊橋若葉幼稚園

年 齢	保 育 者	公開保育	利 用 番 組 等
3 歳 児	金子八重	T V 視 聴	つくってあそぼ
4 歳 児	伊藤結花	T V 視 聴	しぜんとあそぼ（ハイビジョン）
5 歳 児	竹田ひろみ	T V 視 聴	こどもにんぎょう劇場

豊橋市立松山小学校

学 年	授 業 者	教 科 等	利 用 番 組 等
1 年	原 田 憲 一	生 活 学 習	あしたもげんきくん
	杉 江 まゆみ	生 活 学 習	あしたもげんきくん
2 年	近 藤 伴 和	生 活 学 習 (合 同)	とひだせたんけんたい
	鈴 木 雅 子		
3 年	栗 本 久 子	生 命 学 習	みんな生きている
	山 田 隆 一	生 命 学 習	みんな生きている
4 年	中 神 由 衣	生 命 学 習	みんな生きている
	徳 島 洋 子	生 命 学 習	みんな生きている
5 年	山 西 正 泰	環 境 学 習	いのち輝け地球
	天 野 みどり	環 境 学 習	いのち輝け地球
6 年	田 中 洋 子	環 境 学 習	いのち輝け地球 (ハイビジョン)
	安 村 信 弘	環 境 学 習	いのち輝け地球
	鈴 木 清 子	環 境 学 習	いのち輝け地球

豊橋市立羽根井小学校

第 1 校 時			
学 年	授 業 者	教 科 等	利 用 番 組 等
1 年	新 美 真 弓	道 徳	のびのびノンちゃん
	山 本 教 子	道 徳	のびのびノンちゃん
2 年	近 藤 恵 子	道 徳	あつまれじゃんけんぼん
3 年	長 尾 尚 子	理 科	はてなでスタート
4 年	佐 野 裕 次	社 会	くらし発見 (コンピュータ)
	山 内 美 紀	社 会	くらし発見
5 年	水 野 敏 子	理 科	わくわくサイエンス
6 年	根 木 真 太 郎	社 会	歴史たんけん (コンピュータ)
	上 林 由 美	理 科	しらべてサイエンス
第 2 校 時			
1 年	山 口 浩 世	音 楽	ワンツー・どん
2 年	三 浦 康 代	音 楽 (TT)	うたってゴー
	白 井 洋 子 佐 野 直 美		
3 年	田 中 友 美	道 徳	さわやか3組
	後 藤 新	理 科	はてなでスタート
4 年	石 積 尚 子	社 会 (TT)	くらし発見 (コンピュータ)
	八 木 稔		
5 年	鈴 木 康 弘	理 科	わくわくサイエンス (コンピュータ)
	野 口 真 理	道 徳	あしたヘジャンプ
6 年	内 藤 進 一	社 会	歴史たんけん
若 草	白 井 明 子 百 瀬 真 理子 鈴 木 真 澄	音 楽 (TT)	ワンツー・どん

豊橋市立中野小学校

学年	授業者	教科等	利用番組等	学年	授業者	教科等	利用番組等
1年	堀江 茂子	音楽	ワンツー・どん	4年	西郷 輝久	理科	はてなをさがそう
	井戸 裕子	道徳	のびのびノンちゃん		水鳥 治美	社会	くらし発見
	若山 明子	生活	あしたもげんきくん		山本 尚美	理科	はてなをさがそう
2年	神藤 成美	算数	さんすうすいすい	3年	鈴木 恵子	道徳	あしたヘジャンプ
	内藤美和子	生活	とびだせたんけんたい		鈴木 辰巳	理科	わくわくサイエンス
	杉山 智子	生活	とびだせたんけんたい		野口 正芳	社会	ジャパン&ワールド
3年	伊藤 智啓	社会	このまちだいすき	6年	水谷 益子	社会	歴史たんけん
	鈴木 月代	国語	おはなしのくに (ハイビジョン)		彦坂 安弘	理科	しらべてサイエンス (ハイビジョン)
	山田富美子	理科	はてなでスタート		沓掛 淳一	道徳	はばたけ6年

豊橋市立豊城中学校

学年	授業者	教科等	利用番組等	学年	授業者	教科等	利用番組等
1年	河合 律郎	理科	ステップ&ジャンプ	3年	中川 博文	数学	数学ボックス
	小野美由紀	道徳	マイライフ		本多 宏成	技術	10min コンピュータ
	柿園加代子	特活	アクセスJ		森田恵三子	音楽	NHK 全国音楽コンクール
2年	刈内 君枝	美術	一般番組		西郷 好則	社会	ワールドウォッチング
	鈴木 泰代	国語	古典ボックス	567 組	岡本 芳宗	作業	いってみよう やってみよう、他 自作教材
	鈴木 宏道	英語	ゲーリーさんの 英語レッスン		平井 敏久 太田 和子		

豊橋市立羽田中学校

学年	授業者	教科等	利用番組等	学年	授業者	教科等	利用番組等
1年	田中あゆみ	道徳	マイライフ	2年	松井 隆一	特活	マイライフ
	岩竹 伸治	特活	マイライフ		神田 守栄	理科	ステップ&ジャンプ
	内藤 恭子	数学	数学ボックス		山本 壮一	社会	ステップ&ジャンプ
	藤井 祥吾	社会	ステップ&ジャンプ	3年	伊藤 道子	道徳	マイライフ
	白井 正敏	理科	ステップ&ジャンプ		吉見 央	社会	アクセスJ
2年	竹嶋 寛 伊藤ゆきよ	英語	ゲーリーさんの 英語レッスン		瀧崎 吉伸	理科	ステップ&ジャンプ
	戸田 隆	数学	数学ボックス	山本 雅康	技術	10min コンピュータ	
	久野 佳映	道徳	マイライフ	藤田 愛子	家庭	ビデオ教材	

愛知県立豊橋商業高等学校

学 年	授 業 者	教 科 等	利 用 番 組 等
第一校時	3年	杉本直記	商業、課題研究 POP広告作成実習
	3年	萩原洋一	商業、課題研究 ワープロ実習
	1年	村田孝夫／河合楯夫	商業、情報処理 オンラインCOBOL実習
	3年	伊藤 誠	国語、国語Ⅱ ビデオ教材「漢詩」
第二校時		大原裕士	特 活 マルチメディアを利用した学校紹介
	2年	久野勝美	公民、現代社会 VTR（ハイビジョン）
	3年	神原宏樹	商業、貿易英語 CD-ROM教材とVTRの授業への応用
	3年	佐々木雅一／ロビン・シルベスター	商業、貿易英語 VTRを利用したAETとのチームティーチング
	3年	伊藤有司／佐竹周太郎	商業、ワープロ ワープロを用いたグラフ作成実習

愛知県立時習館高等学校

学 年	授 業 者	教 科 等	利 用 番 組 等
第一校時	3年	別所 興一	社 会 ステップ&ジャンプ
	2年	今泉 恭子	家 庭 男と女の生活学
	2年	村田 千秋	芸 術 VTR（ハイビジョン）
	2年	林 蒼樹	理 科 生命40億年をはるかな旅（総合単元への試み）
第二校時	2年	梅藤 仁志	国 語 生命40億年をはるかな旅（総合単元への試み）
	1年	近藤 至彦	体 育 パソコン、ビデオカメラ
	2年	佐藤 康彦	数 学 パソコン、教材提示装置
	2年	杉浦 雅則	英 語 LL、ワールドマガジン「エイズと向き合った7日間」

愛知県立豊橋養護学校

部	授 業 者	障害種別	教 科 等	利 用 番 組 等
小1・2年	馬場智恵子	肢体不自由	生 活	あしたもげんきくん
小1～6年	藤原 立司	精神発達遅滞	生活単元	グルグルバックン
小3～5年	新實ゆかり	肢体不自由	生 活	自作ビデオ「おいもてつくり」
小 4年	河合 幹司	肢体不自由	理 科	パソコン「わんダーノート」の活用
小 3年	石川 京子	肢体不自由	生 活	感覚遊び「うさぎのくにへいこう」
中1～3年	鈴木 祥子	肢体不自由	道 徳	中学生日記
中1～3年	佐々部典子	精神発達遅滞	生活単元	自作ビデオ「郵便局へ行こう」
中1～3年	大須賀唯哲	肢体不自由	生活単元	自作ビデオ「みんなあつまれ」
高 3年	玉越 直子	精神発達遅滞	生活単元	ひとりのできるもん
高 3年	白井 啓	肢体不自由	数 学Ⅰ	パソコン「表計算ソフト」の活用
高 3年	伊澤 治	精神発達遅滞	生活単元	自作ビデオ「収穫祭を終えて」
施設内 小2～中3	中野 隆康	肢体不自由	生活単元	揺れ・音・光の感覚遊び 「つくしミステリーツアー」
訪問中3年	桑名 廉	肢体不自由	国 語	モニター遊び「ことばの学習」

※施設内・訪問はビデオ公開とする。

会場校・園 研究発表・研究協議案内

研 究 発 表 ・ 研 究 協 議							
校・園名	時 間	進 行	提 案	司 会	助 言	N H K	講 評
磯 辺 保 育 園	10:40 ～11:40	鈴木 建一 (大村保育園長)	丸地 好子 他7名	野口 知子 (石巻保育園長)	水崎 広子 (西批把島第二 幼稚園長)	杉本 勇 (ファミリー番組部 チーフディレクター)	/
明 照 保 育 園	研究発表 9:20 ～9:50	3才児以下 恒川 善弘 (岩田保育園長)	中島美奈子 他1名	竹内 郁子 (吉田方 保育園長)	古森 柴折 (稲沢尙壇 保育園長)		
	研究協議 11:00 ～11:40	4・5才児 荒川 武保 (ひまわり 保育園長)		平山 憲子 (二川東 保育園長)	伊東 世光 (名古屋天使 保育園長)	木村 武雄 (ファミリー番組部 チーフディレクター)	
豊橋若葉幼稚園	10:30 ～11:40	松井 昭年 (ゆめの子 幼稚園長)	金子 八重 他2名	中尾 賢二 (豊岡幼稚園長)	伊藤 園子 (春日井いとう 幼稚園長)	瀬川 忠之 (ファミリー番組部 チーフプロデューサー)	/
松 山 小 学 校	10:50 ～12:00	佐野 弘三	安村 信弘 他3名	小久保敏夫		小宮 忠幸 (学校放送番組部 ディレクター)	加賀澤泰明 (豊田保見 中学校長)
羽 根 井 小 学 校	11:15 ～12:00	鈴川 徳昭	根木真太郎 他3名	清水 直男 (向山小学校 教頭)		吉田 準 (学校放送番組部 ディレクター)	足立 勝弘 (豊川国府 小学校長)
中 野 小 学 校	10:45 ～12:00	長瀬 恵宣	彦坂 安弘 他4名	鈴木 清次		石川めぐみ (学校放送番組部 ディレクター)	牧野伊佐夫 (岡崎竜美丘 小学校長)
豊 城 中 学 校	10:50 ～12:00	林 昌宏	樋口 信彦 他2名	戸田 文雄		高砂 和郎 (学校放送番組部 ディレクター)	白井 正杜 (岡崎生平 小学校長)
羽 田 中 学 校	11:00 ～12:00	松葉 武男	山本 莊一 他4名	大浦 純造		杉沢 礼 (学校放送番組部 チーフプロデューサー)	大町 忠久 (蒲郡三谷 中学校長)
豊橋養護学校	11:10 ～12:00	兵藤 紀之	山口 哲男 他2名	伊藤 昭道	廣瀬 正彦 (大阪養護教育 諸学校・学級 放送教育研究 会理事)	本田 康一 (大阪放送局 チーフディレクター)	西口 茂 (宝飯 一宮東部 小学校長)
豊橋商業高校	9:00 ～9:40	清水 健市	高木 裕	/			
時習館高校	9:00 ～9:35	林 義人	影山 宣洋				

第 46 回

放送教育研究会全国大会
愛知大会

幼稚園・保育所

社会福祉法人
磯辺保育園

社会福祉法人
明照保育園

学校法人みゆき学園
豊橋若葉幼稚園

はずむ心がかがやく 放送教育を実践しよう

〈主題設定の理由〉

人間の生活や発達には周囲の環境との相互関係によって行われる。人間形成の基礎となる豊かな心情、自分からかかわろうとする意欲、健全な生活を営むための態度は、生活の中での興味や欲求にもとづいた直接的・間接的・具体的な体験を通して培われる。

幼稚園や保育所においては、幼児が興味・関心を持って発達に必要な体験をすることができる適切な環境が必要となる。こうした適切な環境として放送教材を考えた。放送を視聴して得た感性（直感的な心の働き）や興味・関心から、保母や教師との温かい愛情と共感しあえる信頼関係に支えられ、「やってみたい」「つくってみたい」「おどってみたい」「遊んでみたい」といった心が生まれてくる。この心が真に躍動するときを「はずむ心」と考えた。はずむ心は意欲的であり、主体的である。例え一つの模倣であっても、承認されることによって、満足感や成就感が生まれ、さらに発展していく。こうした体験の積み上げによって、新しい関係を見出したり、新しいアイデアが生み出されたりする。そのときを「かがやく」と考えた。また、保母や教師だけでなく、友だちとの相互のかかわりから得られる存在感や他者への思いやり、集団への参加意識などの社会性によって、はずむ心がよりかがやいていくことになると思う。

放送は、幼児期の子どもの身近な体験を意欲的に吸収しようとする特質をふまえ、子どもたち自らが意欲的にかかわり、自分の力で遊びを発展させるという特性がある。さらに、自分の力で問題を解決して、充実した生活ができるように支援もなされている。

そこで、このような放送の特性を生かして、放送で得たイメージを遊びの中で生かしながら、楽しく学び、自己実現を図っていかうとする姿を求め、本主題を設定した。

重点課題

- (1) 一人一人がイメージをふくらませ、意欲的に取り組んでいけるような保育のあり方を探る。
- (2) 主体的な活動を促し、豊かな感性を培うための効果的な放送の生かし方を探る。

- (1) 一人一人がイメージをふくらませ、意欲的に取り組んでいけるような保育のあり方を探る。

子ども一人一人が楽しく活動できる基盤は、家族や保母、教師からの愛情と友だちとの共感から得られる安定した情緒にある。そして、その基盤に立って、感動を味わうことで、子どもたちはイメージを豊かにふくらませ、様々なことに意欲的に取り組もうとする気持ちが喚起されていくのである。この意欲こそが、子どもたちを自己実現の満足へと向かわせる力となっていく。

以上のような考えをもとに、一人一人がイメージをふくらませ、意欲的に取り組んでいけるよう、実践を進めていく。

- (2) 主体的な活動を促し、豊かな感性を培うための効果的な放送の生かし方を探る。

主体的な活動を促し、豊かな感性を培うためには、子どもが自ら環境にかかわり、直接的・具体的な実体験を積み重ねながら、遊びや生活が充実し、発展的なものになるようにしていく必要がある。そのためには、どのように放送を活用したらよいかを考えていく。番組視聴中の子どものつぶやき・表情などの記録から個々の子どもの内面を探り、変容を把握する。さらに、一人一人の思いや欲求に応じた援助をし、子どもたちのイメージを広げ、自由な表現ができるように、素材、活動時間などの環境づくりをしていく。

このように、主体的な活動を促し、豊かな感性を培うための効果的な放送の生かし方について、実践を通して研究を深めていく。



社会福祉法人 明照保育園

所在地 〒441 豊橋市牟呂町字中村 67-1

電話 (0532) 31-1419

FAX (0532) 31-1499

理事長 杉浦 章

園長 杉浦きく子

園児数 230名

クラス数 8

1. 本園の概要

(1) 特色

従来、農漁業が主体を占めていたが、三河港造成発展後は道路整備に伴い各種工場の進出がめざましく、商工業地帯に変貌しつつある。本園は牟呂中学校区の中心に位置し、小学校と隣接する文教地区にある。園児のほとんどが同一校区に居住し、乳児からの長期間保育を経験する園児が多い。

地域や家庭との連携を密にし、家族で楽しめる季節の行事を大切にしている。

(2) 保育目標

『心身ともにたくましく、
思いやりのある子ども』

◇乳児を温かく受容し、適切な環境をととのえて、安定した保育をする。(養護)

◇子ども自身の生活リズムを大切にし、自己活動や友だちと協調できる体験が遊びを通して総合的にできるようにする。(生活・遊び)

◇子ども一人ひとりの特性に応じ、発達課題を配慮し援助と指導をする。(文化・課題)

与えられた物質や知識に囲まれているだけでは、子どもも本当に欲求を満たしているとはいえない。今の社会をよりよく生きていくためには、これらの与えられたものをのりこえていく力や豊かで鋭い感性が必要といえる。その原動力となるものは、感動の大きさであると考え。何らかの刺激を受け、感動を通してイメージを豊かにふくらますことで、個々に自発性が生まれ、様々なことに意欲的に取り組み、人や環境に働きかけることで心情が育まれる。そして、物事に対する見る目を養い、さらなる意欲へとつなげていく姿を、子どもの生活や遊びが充実する姿とし、そのための環境や援助について日々の実践の中で追究している。感動を大切に保育の中で、放送についてもこのような保育環境のひとつとなることをねらい、この主題を設定した。主題を達成するために、放送が子どもの育ちに及ぼす影響を探り、保育者はどうあるべきかを検討すると同時に、保育全体の見直しも図る。

(3) 研究経過

～平成6年度～

① 番組を検討したうえで、各学年で統一した番組をクラス別で視聴し、その様子を探る。

② 0～5歳児の保育全体を通じ子どもの内面を理解することに重点をおき、子どもをしっかりと見つめ、細かい心の動きを推察することで、どこに心が揺れ動き

2. 研究のあゆみ

(1) 研究主題

「ひとりひとりの乳幼児にとって、生活や遊びが充実する保育を実践しよう」

(2) 主題設定の理由

氾濫する物質や情報は社会に便利さをもたらし、豊かな生活の中で子どもたちは満ち足りているかに見える。しかし、



どういふ思いで活動しているのかをつかみ温かく受けとめたり適切な援助を図る。

③ 保護者のテレビへの思いをアンケート(記述式)により探ったり、親子視聴により共に見ることで感動の大きさを味わう。また、以前より実施している園の様子をありのままに映した自作ビデオ『明照げんきっ子ビデオ』について、子育ての関心への効果を探る。

④ 愛知県放送教育特別研究会にて人との関わりを大切にする放送について発表。

～平成7年度～

① 子どもの育ちについて長期的な視野にたち、園全体で統一を図る。乳児では家庭的雰囲気や基盤にみんなで視聴を楽しむ、3歳児ではお話の世界での心情を育む。4歳児ではふくらんだイメージで活動する意欲をのぼし、5歳児では命の尊さを感じ、より生き生きと活動できることを願い、継続視聴番組として下記のように選択した。

- 乳 児……「おかあさんといっしょ」
- 3 歳児……「こどもにんぎょう劇場」
- 4 歳児……「つくってあそぼ」
- 5 歳児……「しぜんとあそぼ」

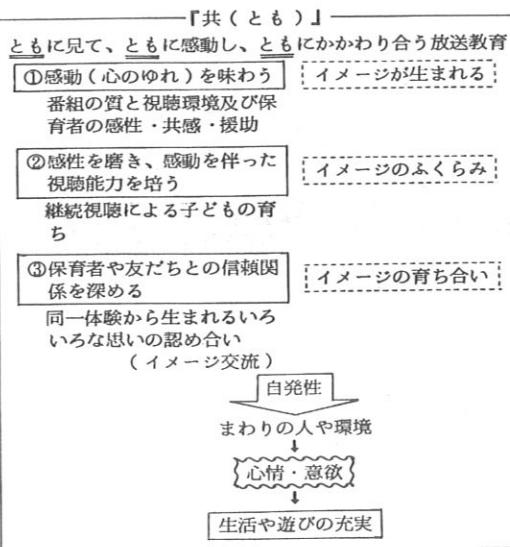
随時視聴番組として2歳児後期から「こどもにんぎょう劇場」「お話でてこい」「わいわいドンブリ」でお話の世界に親しむ。

② イメージ交流と表現意欲の場として廃材を置く部屋の充実を図るほか、子どもがより主体的にかかわれる環境づくりを検討する。

③ 『共(とも)』の思いを大切にする。(表)さらに、前年度の記録や研究をもとに、環境のひとつとして位置づけた放送の年間計画を試み、来年度に向け研究実践をする。

(4) 成 果

① はじめは視聴に対して受け身的で心のゆれも表出されなかったが、継続視聴により高まった思いが徐々に表れ、心の交流が見られるようになった。



② 保育者と子どもが同じ立場で視聴することで、子どもにより自発性が生まれ、保育者自身も子どもと同じ心のゆれを味わうことで、子ども理解につながった。

③ 廃材を自由に使うことで子どもの表現がより主体的になり、作品や遊びに使った物の展示を工夫することで、イメージ交流が盛んに行われるようになった。

【年齢別の要約】

- 乳 児…月齢差が大きいなか、大きな子の楽しむ影響を受け、視聴を楽しむ子がふえた。
- 3 歳児…主人公を中心とした登場人物の思いにイメージがふくらんできている。
- 4 歳児…視聴の高まりから意欲的に取り組むことで、模倣だけでなく、自分たちで遊びを創り出す姿がみられてきた。
- 5 歳児…視聴してわかったことや、すでに知っていることを表現(言葉・絵・作品等)するだけで満足していた姿から、視聴の感動から生まれた知識や技術を表そうとする姿が見られるようになってきた。

(5) 今後の課題

- ① 内面の表出ができてくにくい子の様子を多面的(信頼関係・イメージのふくらみ・表出の仕方等)にとらえ、援助する。
- ② 保育者は観察の眼にならず、共感の思いを伝えながら、一人ひとりの内面を様々な場面でさらに深くつかむ。